



第 288 号(令和4年(2022 年)12 月 27 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

データで見る冬山登山に潜むリスク

<https://yamahack.com/5563> (YAMAHACK 掲載)

- ・冬山シーズンの遭難者は 20 代~40 代が約 3 分の 2 を占める！？
- ・入山目的別で異なる態様(遭難原因)
- ・雪山登山では「道迷い」が多発
- ...
- ・同じ山でも難易度が上がる冬……一段階レベルを下げた登山計画を

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

12 月 3 週は、山岳遭難の発生はありませんでした。

冬山には、夏山とは違った魅力がありますが、風雪やホワイトアウトによる道迷い、深雪でのラッセルによる体力の消耗、吹雪による低体温症や凍傷など、山岳遭難のリスクは増大します。冬山は、厳しい自然条件下で行動しなければならず、常に危険と隣り合わせとなり、一年で最も厳しいシーズンと言えます。些細な準備不足や判断ミスが、致命的な遭難となるため、冬山に登るには体力や知識だけでなく、装備品を使いこなす技術力・判断力・経験が必要不可欠です。さらに、積雪や凍結等により、夏山の倍以上の行動時間がかかることもあります。

冬山登山を計画する際には、自身のレベルに見合った山選び、冬山装備を携行し、技術を習得してから入山しましょう。また、悪天候時の登山は命取りとなります。入山前に確認し、『入山しない』『撤退する』選択肢を持ちましょう。冬山に入山する以上、遭難のリスクは誰しもあるものです。アクシデントに対応できるような非常用の装備を携行し、登山計画の段階から、積雪を考慮した余裕のある日程と冬山に対応できる装備品を携行しましょう。

12 月 4 週は、2 件の遭難が発生しました。

八ヶ岳における遭難は、長時間の行動と装備不足により、行動不能となったものです。もし、付近に山小屋等がなく、その場でビバークをせざるを得なければ、風雪や気温低下によって低体温に陥るなど生死に関わるリスクを伴います。

こういったリスクを減らすために、事前準備を徹底、予備の装備を携行するなど、時間に余裕を持った行動を意識することが必要です。そして、行きたい山、過去に登頂したことのある山ではなく、自身の体力・経験に見合った山選びをしましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
12月24日	八ヶ岳連峰 赤岳	男	73	無事救出	その他	3人パーティで赤岳に向けて地蔵尾根を登山中、装備不足により行動不能
24日、3人パーティで八ヶ岳連峰赤岳に入山した男性(73歳)が、地蔵尾根を登山中、疲労・装備不足等により行動不能となる山岳遭難が発生し、諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
12月25日	北アルプス 有明山	男	55	負傷	滑落	7人パーティで有明山で狩猟中、滑落、負傷
25日、北アルプス有明山に仲間6人と入山した男性(55歳)が、狩猟中に足を滑らせて滑落・負傷する山岳遭難が発生し、松本広域消防署員が出動して救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月25日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	281	37	4	138	127	306	179
内)単独登山	100	17	3	38	42	100	58
内)山菜きのこ採り	21	5	2	4	10	21	11
令和3年(2021年)	255	47	2	115	109	273	164
前年同期比	+26	-10	+2	+23	+18	+33	+15
内)単独登山	-8	-9	+1	+3	-3	-8	-5
内)山菜きのこ採り	-1	-4	+2	-4	+5	-1	-6

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月25日)

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	47	16.7%	8	0	27	15	50
	後立山	48	17.1%	7	0	20	27	54
	その他	31	11.0%	3	2	14	13	32
	計	126	44.8%	18	2	61	55	136
中央アルプス	17	6.0%	3	0	8	7	18	
南アルプス	8	2.8%	0	0	5	3	8	
八ヶ岳連峰	50	17.8%	4	0	28	26	58	
その他の山岳	80	28.5%	12	2	36	36	86	
計	281		37	4	138	127	306	

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～12月25日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	75	26.7%	24	0	53	0	77
転倒	68	24.2%	0	0	68	0	68
病気	24	8.5%	8	0	0	16	24
道迷い	42	14.9%	0	0	1	53	54
落石	5	1.8%	0	0	6	0	6
雪崩	4	1.4%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	30	10.7%	1	0	0	33	34
不明・他	33	11.7%	2	4	8	25	39
計	281		37	4	138	127	306

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～12月25日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	3	5	8	39 18.9%	0	0	0	2	2	17 17.0%	10	56 18.3%
20代	1	0	3	16	20		0	1	5	3	9		29	
30代	0	0	4	7	11		1	0	4	1	6		17	
40代	4	0	24	8	36	65 32.0%	0	0	10	5	15	43 43.0%	51	109 35.6%
50代	4	0	15	11	30		2	0	13	13	28		58	
60代	11	0	16	24	51	101 49.0%	2	0	12	5	19	40 40.0%	70	141 46.1%
70以上	10	2	19	19	50		2	1	10	8	21		71	
計	30	2	84	90	206		7	2	54	37	100		306	
比率	67.3%						32.7%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。